

ご挨拶

慎之介の事件について

西条聖マリア幼稚園は、お泊り保育について正確な情報を保護者に説明することなく

20年間何も無かったから大丈夫、という根拠のない理由で「安全、安心」と思いこみ、慣例行事という事で漫然と繰り返されてきた中で起こるべくして起きた死亡事件です。

幼稚園の安全危機管理に対する意識の低さが露呈しました。

慎之介の事件からの教訓は世間一般的に「水遊びの注意喚起=再発防止策」となってしまうがちです。

しかし、問題は単一的ではなく、

なぜ、子供の命を守るという意識が欠落したのか、なぜ、杜撰な組織・管理体制になってしまったのか、

なぜ、危険度の高い川に園児を無防備な状態で連れて行ったのか・・・

なぜできなかったのかという事が「原因の根源」だと考えています。

私達保護者は、幼稚園に通わせる選択をするとき「安全は当然保障されているもの」と思いこんでいました。

「コミュニケーション」や「安全・安心」というものは目に見えないものなので、

なんとなくこうだろう、こうあるべきだろうと、分かっているようでも、ぼんやりしがちです。

リスク・コミュニケーションという言葉の認識を深めることで、理解しやすくなる=表現しやすくなると感じました。

リスク・コミュニケーションとは、という事を掛札先生にお話いただき、皆さんにご理解していただいた上で、

慎之介と貴弘君の事件からの具体的な事例を元に議論しながら、事故原因から再発防止策・意識変革について探りたいと思っています。

議論するうえで、被告となってしまった先生たちが出席するわけではないですから、事故原因については推測になってしまいますが、きちんとした情報を開示し、職員たちにとって健全なコミュニケーションがとれる風通しの良い組織体制であったならば、というような仮説を立てることは出来ます。

本来あるべき体制であったならば、安全対策がきちんと実践されていれば、現状は全く違うものであったはずです。

難しい問題ですが「子供の死を無駄にしない」という思いを少しでも形にしておくために勉強会を企画しました。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

H25年12月7日 吉川優子

幼稚園・保育園・学校事故事件の共通する問題点

1. 事故事件について情報公開・共有されない
2. 社会全般的に子供を育てる中でのリスク共有・認知がなされていない
3. 説明責任が果たされない
4. 組織体制の問題
 - a.無責任で杜撰な管理体制と意識の下で子供を預かっている
 - b.意思決定が不明確
 - c.一般常識が通用しない

5. 遺族の孤立

a.事故事件に関わること、話すことすらタブーとなる地域がある b.原因究明よりも平常を取り戻すことが優先される

6. 遺族・被害者ケアがなされない

7. 事故事件に対する調査、再発防止策、責任追及など行政によって対応・姿勢が異なる

a.私学は調査する権限がない

8. 死亡・致傷事故事件を起こしても罰則がない(責任は問われない)

a.指導監督する機関がない b.刑事は個人の罪を追及、日本には組織罰がない c.公務員は国家賠償で守られる

9. 真実を求めて民事裁判を選択している

a.真実の究明を民事裁判に求めても厳しい場合がある b.風化させないために行っている遺族が多い

10. 遺族・被害者は自分自身で情報収集を行わなければ何もわからない

社会全般的に子供を育てる中での
リスク共有・認知がなされていない

事故事件について情報公開共有されない

説明責任が果たされない

組織体制の問題

幼稚園、保育園、学校が、保護者そして社会全体
で情報を共有し信頼関係を築くためには・・・

- ・当事者間で認知ギャップが生じている
- ・保育士・教諭らは適切な対価(評価)を得ていないのではないか。
- ・救命救助など自信をもって行えるような指導・教育・訓練が
足りていないのではないか・・・etc

リスク・コミュニケーションとは・・・

「こんなことが起きるとは思わなかった」
「安全危機管理対策は当然のこと」という思い込みではなく
対策内容、根拠ある情報・知識を共有することで
安心安全を築く

◇全柔連のシンポジウムからの実例◇

フランス・イギリスでは柔道の指導資格は国家資格

資格を取得した指導者は、個人のクラブを開業し、安全で充実した指導
を提供することで生徒が集まり収益が上がり、評価を適正な対価を得る
ことでモチベーションが上がり、指導内容は更に向上し生徒も増えてい
く。

日本は教育現場に組み込まれており、試合の実績が指導者の評価となっ
ている。

イギリスでは平手打ちなど一度でも叩くとライセンスは剥奪される
※社会として認められていない

社会(国)の基準・在り方によって行動規範は変わる。
意識変革が何よりも重要

少数派

事故事件経験者

事故後に起きた問題点も含め
繰り返さないために
～求めるもの～
原因究明、責任追及、
再発防止策・・・

多数派

事故事件未経験者

事故にあわないために・・・
安全な幼稚園、保育園、学校の
選択基準を知りたいetc・・・